

Rotary Yachiyo



CREATE
LASTING
IMPACT

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-27 年度国際ロータリーメッセージ

「持続可能なインパクトを生み出そう」

2026-27 年度クラブテーマ

「八千代ロータリークラブ

60年の歴史から学ぶ」

炉辺会談

2026年8月28日

八千代ロータリークラブ CLUB NO.15070

◆◆◆勝田台 久利多◆◆◆

ロータリー情報研修会(炉辺会談)



新年度になると各委員ごとに、また、関連委員会で年間計画の運営に当たっての相談や親睦のための炉辺会談が開かれていたことと思いますが、新入会員への勉強会の談話会は比較的開催されていなかったと思われます。3年前、君塚さん会長年度には、八千代クラブの歴史などについて、炉辺会談が6回程開催されました。

今宵は入会10年来の皆さんにお声がけをさせて頂きました。ようこそご出席下さいました。まず、日頃私が思っているロータリーの基本的なことを断片的にお話申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、炉辺会談はファイヤーサイド・ミーティングとしてアメリカで90年以上昔から開かれ、ロータリーの初歩的な質問など、気易く語られる場として研修には効果的だと言われております。

まず、ロータリーとライオンズの違いについては、前年度橋本さんが卓話で丁寧にお話しされたので、ご承知の事と思いますが、その根本に「決議 23-34」という声明があります。それは「社会奉仕に関する1923年の声明」という理念でもあります。(理念＝根本にある考え方＝観念)

これは1910年代にロータリークラブの目的について職業奉仕か社会奉仕かという事で、大論争が起こり、そして1917年(今から109年前)にこの中の社会奉仕を主張する人達が分離独立しました。それがライオンズク





クラブでもあります。この 23-24 とは 1923 年セントルイス国際大会に提出された第 34 議案で、内容は「クラブは一固まりになって行動するような活動よりも、広く総てのロータリアンの個々の力を動員するものの方が、よりロータリー精神にかなっている」という声明です。

それは数年おきに開催される規定審議会後に、昔は発行されていた「手続要覧」には、ロータリーの規約では無いので掲載されていませんでしたが、規定審議会の理事会が事務総長に強く要請して記録に残すようになったようです。

又、そこにはクラブにおける活動は、会員に奉仕の訓練を施すための研究室の実験の様なもので、活動の目的は1人1人が社会に奉仕する自覚を与える学校のようなものだという主旨も書かれていて、ロータリーの奉仕活動全般に関する声明でもあります。

次にロータリーの会計について話しますが、近年会計さんが何回かお話ししているので皆さんご承知のはずですが、一般的な団体と違って、一般会計のほかに特徴的なのは対外奉仕会計が有る事です。

又、今年度の様に周年行事が有ると、更に特別会計の3本立になります。一般会計は会員の年会費による人頭分担金や食事代などの例会費等

のクラブ運営費と、クラブ奉仕関係委員会費用からなっています。

ガバナー公式訪問の時、会長幹事が毎年の様に聞かれるのは「友愛ボックス」の事だと思います。他のクラブには友愛ボックスは無いと思われます。八千代クラブでも元々は無かったのですが、ニコニコが沢山溜まっているのに、クリスマス家族会や、親睦旅行にも使う事が出来ないの、三井さんのグランド・パパの三井 明さんが始めたのだと思います。

元々、対外奉仕会計のロータリー財団特別寄付金と米山奨学会の予算額は目標額として長年予算立てしていましたが、橋本さんが幹事だったか、会長だったかの時に寄付金に予算額とは変だ、という事で予算立てしなくなり、以来継承されている様で、今年度も0円で記載されています。



今年度シニア名誉会員が誕生すると、その年会費はレートの変更の関係もあって、毎年度の様に変更されるでしょうから幹事になられる方はご注意下さい。ちなみに今年度は先週の理事会で年会費4万5千円に決定しました。

ある年度、一般会計が90万円もの赤字決算で、次年度に引き継がれた年度が有り、新年度理事会は自分達が赤字決算を出したのではないのに、そのままでは新年度予算も組め

ないので承認出来ず、引継ぎに大変苦勞した年度が有ります。

これからの幹事さんは、そんな事が無い様に常に注意して、もしそんな状況になりそうであれば、それこそニコニコに入れる前に友愛ボックスに入れて戴き、補正予算を組んで、理事会で承認を得ればよい事なので、そんな事の無い様にご注意下さい。



次は、役員、理事、委員会の構成について話させて頂きます。耳の痛い話になる方もいらっしゃると思いますが、ご容赦下さい。

クラブの理事会は最高の自主管理主体であり、総ての議案に関する先議権機関です。(問題が発生した時、総ての問題で理事会より先に決議してはいけないこと)したがって賛否を取った時にも理事は同数にならない様に奇数の15名になっていますが、去る年度14名になった年度が有りましたので、私が異議を具申した時、当人は議決権を2票持っているという事で、両手を挙げるからいいよと言われたのには咂然としました。

以前当クラブでは副会長は、会長エレクトの次の会長候補が副会長になっていましたから、クラブ運営の研修期間が2年間ありましたが、9年前からパスト会長が概ね順に副会長に任命されています。今後は高齢や業務等の関係で会長を努められなかつ

た会員を副会長に選任するのも考えるべきだと私は思っています。

話変わって、SAAは会員数の10%以上が理想だそうです。そしてパスト会長を3人含むのが望ましいと物の本に有ります。会場監督は例会場の最高権限を持つ別格の執行機関の役員です。したがって、それなりの人選が必要であって、自分の事ですが、入会3年目で言われるままに知らないでSAAになってしまい、後から先輩達に断然早すぎると言われました。

先ほども言った様に、理事会は最高の議決機関でありますから、人選には充分考慮して、Yes-Manばかり集めることのない様に、又、初めての委員長では無く、幾つかの委員長を経験した人が望ましいと先輩達から教えられました。



ロータリー情報委員会は、昔会長が終わると3年委員会として、先ず1年目は委員になり、2年目に副委員長に、3年目で委員長になる規定でした。そして、新入会員候補の申請が提出されると、所定の手続きを踏んで、推薦者と共に候補者の元にお伺いして、ロータリーの3大義務等をお話して、勧誘する役回りでもありますのでご記憶下さい。

話変わって、年によって毎週の会長挨拶に「私は毎週NO原稿です」とおっしゃる会長も居ましたが、チョット格

好は良いのですが、原稿起こしをする人は大変な苦勞で、特に人名は文字の解らない場合が有り、困るのです。事務員が原稿起こしを他の人に頼んでいると言う年もあり、当時毎月1万円プラスした年度もある程です。



今年度、最初の中村会長の挨拶の時、私に言われたと言う事で、今年の例会場、例会の曜日、時間、年間会費など、前年と変更は無かったのですが、改めて全部仰っておりました。「ロータリーは単年度制なので、変更されることが多分に有り、毎年度話すべきだと池田 建さんの伯父さん、池田 等さんに教わって来ました。

昔、第3例会は夜間例会にした年度が何回か有った様に思います。私は毎月1回例会場を変更して市民会館のフロアで琴を聞きながら花見例会をしたり、ゴルフをしない人は鷹の台に行ったことが無いでしょうから、夜間鷹の台ゴルフ場のレストランで例会をしたり、アクア・ユーカリのお風呂だったりして、例会場を変更して、定例会場にはご迷惑を掛けました。

またそう言う時、事前の通知では

「移動例会」という熟語は有りませんので「例会場変更」夜間になる場合等では時間変更と会長・幹事たる者は正式に言うべきだと思います。

同じ様な事で、パストガバナーのどなただったか忘れましたが、ガバナー公式訪問の折に地区番号は2・7・9・0とは言わないで、2千7百9拾地区と言うべきだと仰った方がおりましたので申し添えておきます。

もう10年程も前になりますが、どのクラブでも会員数が激減したので、クラブ・リーダーシップ・プラン CLP が導入されて、クラブ強化を図る目的で構成され、他クラブでは委員会を減らして各役職を兼任して統括委員会を設けましたが、その当時、委員会数は17、役員7の合計24に当クラブではそのまま統括委員会を設けたので、統括委員会が新たに3人増えたため、かえって屋上屋を架す破目になってしまいました。

数年前に漸く4委員会を兼任することに変更されました。当クラブの様に会員数が多いので、統括委員会は廃止する事が出来るのならば、廃止した方が若い人たちが理事になる割合が高まり、クラブ活性化が図られるのではないかと私は思っております。

以上、様々断片的にお話しましたが、この後、飲みながら、杉山さんや君塚さんもいらっしゃるので、御質問等あればお話しできると思います。

ご清聴有難う御座居ました。

■ 例会日：金曜日 12:30～13:30

■ 例会場：パッツ・ノヴィータ(〒276-0049 八千代市緑が丘1-1-1 公園都市プラザ 1F:FAX047-450-0050)